

和歌山病院での実習を終えて



福島 嵩士

今回、12月5日、6日の2日間、私は呼吸器内科のポリクリの一環として、和歌山病院で実習をしました。

駿田副院長からは結核についてのセミナーをしていただき、結核に対する知識が深まりました。また、和歌山県下では和歌山病院のみ存在する結核病棟の見学や、N95マスクの着用など、実際に施設を回ることによって貴重な体験をできたと感じました。

また、呼吸器に関する器具のセミナーでは、実際に経鼻カニューレを装着して酸素吸入するといった体験ができてよかったと思います。その他のリザーバー付マスク、ベンチュリーマスクの構造といった知識としては知っていてもよく分かっていなかった器具について、実際に手に取ることで理解することができました。

南方院長からはレントゲン写真の基本的な考え方や、読影のポイント、ブロンコ体操を教えてくださいました。まさに実学といった形でのセミナーで、「自分で思考する」といったことに重点が置かれており、今後「良い」医師になるために必要なことだと痛感しました。内容についても、今後も非常に役立つ知識ばかりでした。

今回の実習では、お忙しい中、先生方には大変お世話になりました。今後の糧となる実習だったと感じています。2日間という短い期間でしたが本当にありがとうございました。